

# 第 2 章

## 将来像と取組姿勢

2-1 倉敷市水道事業の将来像

2-2 将来像の実現に向けた取組姿勢



## 第2章 将来像と取組姿勢

### 2-1 倉敷市水道事業の将来像

本市は、豊かな自然と温暖な気候に恵まれ、高梁川の水に大きく依存した水島コンビナートや倉敷川河畔の美しい町並みで有名な美観地区など、豊富な水資源と伝統文化を礎として発展した中核都市です。本市では、現在、人口減少・人口流出に対応し、高梁川流域圏を活力ある経済・生活圏として形成していくことを目指して、様々な分野において流域圏の市町との連携を進めており、水道事業でも広域連携に向けた取組に着手しています。

本市の水道も、他の流域市町と同様に豊かな水量と安定した水質を誇る高梁川を水源としており、全国的に見てもおいしい水道水を安価な価格で提供できています。自己水に加え高梁川で繋がる3つの企業団からの給水という特徴もあり、常時の安定供給が可能となっています。

平成30年7月豪雨において断水を余儀なくされた際も、災害時のバックアップ体制の高さから早期の給水再開が可能となりました。本市では給水区域の中央を一級河川が流れる自然的・地形的恩恵を最大限に活かすことによって、通水からの100年余り、ライフラインとして人びとの暮らしを支え、産業の発展に貢献してきました。

これからも我々水道事業者は、これまでに築き上げてきた世界でトップレベルと言われる日本の水道を確実に後世に引継ぐとともに、今後変化していく自然環境・社会情勢にも的確に対応することで利用者の信頼に添えてまいります。将来もなお、このまちには倉敷らしさがあると人びとから思われ、そのことが人びとを倉敷のまちに惹きつけることになるよう、また、それを実現するためには倉敷の水道の健全な発展が不可欠であるという自覚を込めて、次のとおり将来像を掲げます。

### 倉敷の水道が このまちの未来を創る

この将来像の実現のために守るべきこと・挑戦すべきことを見極めつつ、我々水道事業者は次の姿勢で倉敷のまちの新たな水道システムづくりに取り組みます。



## 2-2 将来像の実現に向けた取組姿勢

「倉敷の水道」の将来像を実現するため、4つの取組姿勢を定めます。

### 水道プロフェッショナルとして最高品質のおいしい水道水にこだわります

本市では、これまでもおいしい水道水を目指して努力してきました。おいしい水道水の例として科学雑誌に取り上げられたこともあります。この伝統を引き継ぎ、今後とも厳格な検査を実施し、コストにも配慮しつつ状況によって高度な浄水方法を検討し、最高品質のおいしい水道水を作ります。

### 多発する自然災害に対し水道システムの被害を最小限に食い止めます

過去には、渇水や豪雨によって断水のやむなきに至ったこともあります。近い将来には巨大地震の発生も予測されています。しかし、災害の有無に関係なく、水道水は人びとの生活に一日たりとも欠かせません。懸念される災害に備え、老朽化した水道施設の更新を計画的に進めるとともに、水道関係団体に限らず、河川・道路・防災関係団体等とも情報を共有し、万一被災しても早期に復旧が可能となるよう対策を講じます。

### 水循環の中の一員として自然環境に配慮した事業運営をします

我々水道事業者は、大気から川、川から海へ、そして海から再び大気へとめぐる水循環の中で水道水を作っています。今後、地球温暖化や異常気象などの自然環境の変化による水道水質の悪化が懸念されていますが、地域に生きる一員として、環境に配慮し、健全な水循環の維持を念頭においた事業運営をします。

### 水道利用者を選んでいただける水道界の優良企業を目指します

水道利用者に喜ばれる水道、おいしい水道水を安価で安定して送るためには、水道利用者の声を大切にするとともに、お互いのコミュニケーションの拡大・充実を図ることが重要です。また、今後の人口減少社会において、経営環境は厳しくなることが予想されますが、IoT技術を駆使するなど効率的な経営を図るとともに、倉敷に水道水を供給している3つの企業団、高梁川流域の水道事業者、民間事業者などとも連携を一層強化して水道界の優良企業を目指します。

